

ふくしたいけんこうぎに行ってみて

ごゆ小・2 さいとう ひな

わたしのしょうらいのゆめは、かんごしさんか、げんごちょうかくしになることです。

この夏休みに、ふくし村でやっていた、ふくし体けんこうぎにさなかしました。かんごしさん体けんができるので行ってみたいなと思っただけです。

体けんの日になり、会場に行ってみたら、たくさんの方がさんかしていました。

オリエンテーションがおわったら、いよいよ体けんこうぎのはじまりです。たくさんの方のこうぎがありました。わたしが楽しみにしていたのは、もちろんかんごしさん体けんです。

まずさいしょに、かんごしさんのふくをきせてくれました。かわいいピンクのナースふくがとてもかわいくて、うれしい気もちになりました。そのあとに、おねつやけつあつのはかり方を教えてもらいました。けつあつをはかるのはむずかしかったです。じょうずな手あらいのし方も教えてくれました。自分の手にあらいのこしがなにか光をあてしらべたときに、あらいのこしがなく、きれいにあらえていたので、うれしかったです。

つぎに、ちょうしんきをつかって心ぞうの音を聞きました。お母さんの心ぞうの音とわたしの心ぞうの音を聞きました。心ぞうの音は、ドクドクという音が聞こえました。こんな音が聞こえるんだと

べん強になりました。楽しくてあつという間に時間がすぎてしまいました。ほかにも手話を教えてもらったり、車いすにのったり高れいしやぎじ体けんをさせてもらったりしました。どれも、はじめの体けんでは、すぐべん強になりました。あいさつ、どうぶつ、自分の名前の手話を教えてもらいました。手話は耳が聞こえない人も、会話ができるので、すごいなと思いました。耳が聞こえない人は、ひょうじょうをつかって気もちをつたえていることをしりました。高れいしやぎじ体けんでは、お年よりの気もちがすぐ分かりました。歩くのも大へんだし、目もよく見えずにふくのボタンをつけるのも、はしでものをつかむのも大へんでした。体けんしてみないと人の気もちが分からないんだと思いました。お年よりの人がこまっていたら、お手つだいしてあげたいと思いました。

ふくし体けんこうぎにさんかしてみても、かんごしさんになりたい気もちがさらに強くなりました。相手の気持ちがかかるやさしいかんごしさんになりたいです。そのために、今はしっかりとべん強して、いろいろなことを体けんしてみたいです。